

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中学校	校 長	岡野 大助	生徒指導主事	山岡 歩未
取組事例名	『 生徒が活躍できる体験活動（場）の創出 』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
- 何か行動を起こす前に不安をつのらせ、立ち止まったままではなく、自分自身で困難に思い切ってぶつかっていくことができる姿勢を身に付けさせる。 - 自分の思いや考えを広げたり深めたりして、論理的に考えたことや、深く共感したり豊かに想像したりしたことを、人との関わりの中で伝え合うことができる。	- 志を高く掲げ、挑戦し続ける生徒 - 新しい発見から学びを深められる生徒 - 多様性を尊重し、かかわり合える生徒



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
①ビブリオバトル - 毎月の生徒朝会で、図書委員が順番で全校生徒に向けて本の紹介を行ってきた。 - 尾道市立図書館で行われるビブリオバトルの紹介をすると興味をもった生徒から参加の希望が出た。 - 歌島祭（文化祭）でビブリオバトルに参加する代表生徒が発表を行った。 - 尾道市立図書館ビブリオバトル小学生・中学生大会に代表生徒3名が参加した。	生徒にめあてをもたせるために - 授業や掲示物を通して、生徒に本の魅力を伝える機会を多くつくった。 - 本に興味のない生徒にも図書室に来てもらえるように、学校司書の先生と相談して選書や部屋のレイアウトを工夫した。
②英語インタビュー - 生徒会執行部が地域に貢献できる活動として、英語インタビューを企画した。 - 学校の近くにある渡船乗り場と対岸の渡船乗り場で、外国人観光客にインタビューを行い、尾道や向島の魅力を伝えることとした。 - 英語力やコミュニケーション能力の向上、地域貢献を目的とした取組であることを全校生徒に伝え参加者を募った。 8月に1回目を実施し、1回目の反省をもとに時間や場所、質問内容等を再度考え、10月に2回目を実施した。	生徒の意欲を高めるために - 委員会で行ってきた取組を校外の活動につなげることができた。 - 普段学習している内容を実際の生活にも生かせるような取組を考えることができた。
	生徒の頑張りを認め、価値付けるために - 大会に参加する前に全校生徒の前で発表できる機会をつくった。 - 生徒朝会で取組の紹介や参加者の感想や気づきを他の生徒に伝えた。



3 成果と課題

生徒の感想は次のとおりであった。①ビブリオバトル【人前で発表する良い経験になった。自分の納得がいく言葉で本の魅力を伝えられた。伝え方を考えるのが難しかった。】②英語インタビュー【英語力に自信がついた。外国の方と話すことが楽しくなった。自信をもって英語を話すことができた。今まで習った英語を復習することができた。】

紹介した活動以外にも、「しまなみサイクリング」や「向島健康福祉まつり」のボランティアや校内で企画したボランティアなど様々な体験活動の場を用意し、取組に参加した生徒にとっては実りある経験となった。取組に参加していない生徒もいるため、より多くの生徒が体験できる活動を企画していく必要がある。